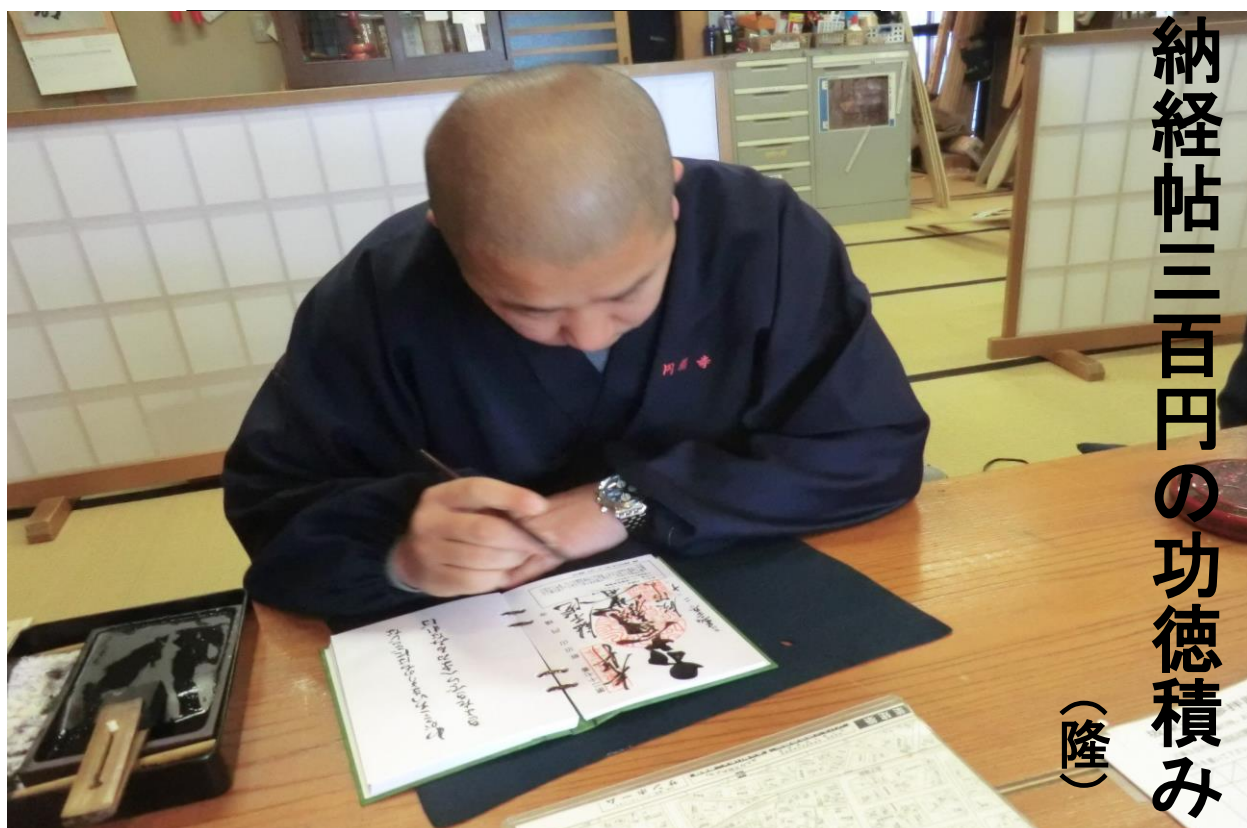


第七十五回フォト句優秀作品（29年7月10日）





八ヶ岳不知火型のせりあがり（隆）



待ちわびる便りもなくしてSNS（由紀子）



寸 評：

1) ご先祖が作柄如何にと会議中 長尾 進一郎

車窓から撮った風景だが青田を前にして墓地。国会のひな壇のような墓地を見てご先祖が会議中と詠んだ人はいるまい。有力な新人が入会し、フォト句会の前途は明るい。

2) 空青く吹き渡る風麦の秋 矢澤 正二

なんていうことの無い麦秋の風景を上手に捉えたスナップだ。

3) 梅雨晴れにてるてる坊主所在なげ 松田 昌康

丸い花蕊を残し花卉が垂れた姿を、てるてる坊主に見立てたが、やや違和感がある。句はパットしないが写真は綺麗。

4) 八ヶ岳不知火型のせりあがり 池田 隆

天气に恵まれた山麓の原村からの八ヶ岳。山全体がせりあがってくるような広大な風景だ。

5) 納経帖三百円の功德積み 池田 隆

巡礼の際、経典の代わりに米銭を納めることを納経という。納経帖に仏号、寺号、印などを受ける。一枚三百円で、懸命に書いている坊さんの正面から撮った写真は珍しいし、背後の衝立障子の間から見えるガラクタは生活感があって好ましい。

6) 待ちわびる便りもなくSNS 新田 由紀子

ポナールの絵にでてくるような落ち着いたシックな窓辺。ガラス戸の青い棧と両サイドの薄いカーテンの風合いがよくマッチし、窓外の淡い緑と相まって素敵な雰囲気をかもし出している。なにやら寂しげな句の末尾の **SNS** が利いているのかも知れない。



今月は大月さんの出題。東京ドームでのビールの売り子の写真だ。

1) 歓声を稼ぎに変えるビール嬢 長尾 進一郎

カ^カの発音を上手に使い、一読してゴロがよいのが特徴。

2) 野球より売り子の笑顔もう一杯 矢澤 正二

雰囲気のある素直な句に好感が持てる。

3) 喉ごっくん脚とビールのダブル生(ナマ) 平尾 富男

生ビールと生脚で味覚と視覚の両方を表現したセンスは抜群だ。

作者の日常の生活ぶりが垣間見える。

4) 売り上げはウインクひとつで倍増し 下山 健夫

良く出来ているが、上記の三作品とくらべるとやや説明的でパンチが乏しい感じがする。